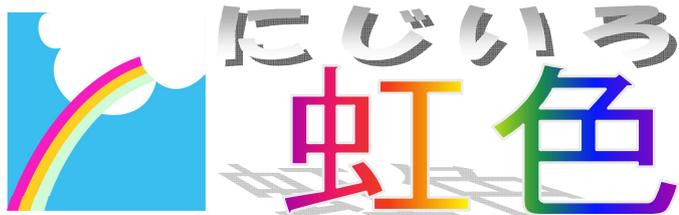


秋田県生涯学習センター
 〒010-0955 秋田市山王中島町1-1
 TEL : 018-865-1171
 FAX : 018-824-1799
 E-mail : sgcen002@mail2.pref.akita.jp
 編集担当：社会教育アドバイザー



季節は巡って春は訪れたのですが、東北地方は、東日本大震災の傷跡が深く、心はずっと冬のままで。命を失った皆様のご冥福を心からお祈り申し上げます。避難が間に合わず津波に飲み込まれた人々、無惨にも押しつぶされ流された家屋、被災地の方々の苦しみや悲しみは計りしれません。また、原子力発電所による放射線漏れという難題も発生しました。

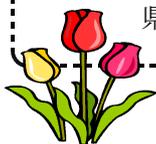
大きな不安をかかえながらも、明日への希望に向かって前進していかなければなりません。心と力を合わせ、復興に向けてオール日本で頑張っていきたいものです。

社会教育アドバイザーと仕事の紹介

平成23年度がスタートしました。今年度の社会教育アドバイザーは、下記の4名です。北・中央・南の各教育事務所に1名ずつと県生涯学習センターに1名の計4名です。

社会教育アドバイザーは、社会教育活動や家庭教育の支援にかかわる仕事をしております。お手伝いすることがありましたら、遠慮なく声をお掛けください。

北教育事務所	小林 礼子	0186-62-1217
中央教育事務所	齊藤 正博	018-860-3242
南教育事務所	石川喜美子	0182-32-1101
県生涯学習センター	津谷ゆき子	018-865-1171



知恵と勇気、不屈の精神を、子どもたちに！

東日本大震災に見舞われた東北地方です。被害の甚大さに震撼させられました。小さな子どもたちの命も情け容赦なく奪われました。家族を亡くし避難所暮らしの子どもたちもいます。子どもたちの心が押しつぶされることなく、笑顔を取り戻す日が一日も早く訪れることを祈ってやみません。

大災害に見舞われても冷静に行動する日本人、困難の中にありながらも助け合う日本人の姿が海外から高く評価されました。そして、海外からも温かい励ましのメッセージや支援が届いています。日本人であることを誇りに思います。家庭教育、社会教育、学校教育の歴史の中で育まれてきた「日本人の心」がいざという場面でも生きているのではないのでしょうか。教育の大切さを痛感しました。

被害の少なかった秋田県ですが、子どもたちは、震災による停電、燃料・食料不足を経験し、新聞やテレビ報道で地震や津波の恐ろしさを知らされました。そして、日本全体が一つになって復興に向かって歩み始めるという経験をしています。この経験を決して無駄にすることなく、危機に対応する力を身に付けてほしいと思います。

どんなことがあっても、命を大切に生きていかなければならないこと、困ったときは、思いやり助け合い励まし合って生きていくこと、どんなときもひとりぼっちではないということ、あきらめず知恵をしばって困難を乗り越えていかなければならないこと、希望を捨てず一步一步前進していくその先に道が開けるということなど、たくましく生きぬくための知恵と勇気、不屈の精神を我々大人が子どもたちに教えていかなければいけないことだと思えます。

平成23年4月20日現在、秋田県では被災地から子どもたちも312人(小学校153人、中学校39人、高等学校14人、特別支援学校6人、保育所・幼稚園100人)受け入れております。心身共に成長する大事な時期の子どもたちです。健やかな日々を過ごさせてあげたいものです。

花冷えや震災孤児の泥の靴
 春愁や書かねばならぬ文なれど
 庭浄め花散る宵のひとり酒

武藤

素魚



厳しい時代を生き、復興の大きな力となる子どもたちを真剣に育てるために！

被災し若い命を失った子どもたちの冥福を心から祈りながら、身近にいる子どもたちを真剣に育てていかなければならないという思いを強くしています。「子は親の鏡」は、よく知られている詩ですが、今一度、子育ての参考にさせていただきたいと思い、次に掲げてみました。

子は親の鏡

ドロシー・ロー・ノルト

石井千春 訳

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言つて育つと、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引つ込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、
子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる



「みんなで学び・育てる家庭教育支援事業」より

秋田県家庭教育支援制度「我が社は家庭教育応援団」では、働く親たちへの家庭教育支援が行われており、平成23年4月1日現在、78企業・団体が登録しています。

参観日やPTA、学校行事に参加しやすい職場環境づくりをしたり、子どもと過ごす時間を増やすために、職場ぐるみで地域行事に参加したり、ノー残業デーを実施したり、家庭教育に関わる研修会などを開催したりしています。

「学校・家庭・地域を結ぶ総合推進事業」より

未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を自覚して、地域全体で子どもの教育に携わりましょうという取組で、その成果は全県的に広まってきております。

主な事業は、「学校支援地域本部事業」と「放課後子ども教室推進事業」です。コーディネーター役の人材が配置され、効果的な活動が展開されている市町村も増えてきました。

～「虹色」の発行に寄せて～

平成23年度も社会教育・家庭教育・女性教育情報「虹色」を発行いたします。関係機関に配付のほか、秋田県生涯学習センターの受付窓口にも置いています。目を通していただければ幸いです。

また、県生涯学習センターと県生涯学習課のホームページにも掲載しておりますので、機会がありましたらご覧ください。各号には、県生涯学習センター所長の俳句を掲載いたします。四季折々の風情や情景、心情などを味わっていただけることと思います。

瑞々しい感性を失わず情報提供できるよう努力して参りますので、よろしくお願ひします。